そよかぜ

so yo ka ze

こどもをみまもる

しみんかぎ

三郷市
マスコットキャラクター
かいちゃん＆つぶちゃん

令和３年５月１日　　第33号
発　行　三郷市青少年育成市民会議
編　集　広　報　啓　発　部　会
事務局　三郷市教育委員会青少年課内
三郷市谷口570番地（三郷市青少年ホーム内）
☎048（953）1040　FAX 048（953）1068

カルタは古くから庶民に親しまれており、親子や友人など誰でも簡単に遊べることが魅力です。

毎年１月に、埼玉県内の歴史・人物・名所をカルタで綴った「彩の国21世紀郷土かるた大会」を開催し、三郷市でも上位入賞チームが市の代表として県大会に出場しています。

この度、三郷市子ども会育成会連絡協議会では本市の魅力を知り、もっと親しみをもってもらいたいという願いから“三郷のいいとこ”カルタの制作に取り組みました。

読み札・カルタ名称の制作に、市内小中学生2,921名より読み札4,132点・カルタ名称797点の応募をいただき、三郷市の自然・歴史・産業・文化を綴った「“三郷のいいとこ”カルタ」がこの度完成しました。

■**制作・著作・発行**
三郷市子ども会
育成連絡協議会

■**頒布価格**
650円（税込）

■**頒布場所**
三郷市青少年ホーム
ららほっとみさと
一般社団法人
三郷観光協会事務局

■**問合せ**
048-953-1040
(青少年課)

目　次

Ｐ１（表紙）…… “三郷のいいとこ”カルタが完成しました
Ｐ２ …… 三郷市青少年育成市民会議 新会長のあいさつ
Ｐ３ …… コロナ禍での各部会の活動について
Ｐ４～５ …… 新しい生活様式の中で、今だからできること（令和２年度に実施した事業）
Ｐ６ …… 少年の主張、「家庭の日」のポスターコンクール
Ｐ７ …… 三郷市青少年育成市民会議の活動
Ｐ８ …… 活動備品の貸出について、子ども110番、見守りボランティアの活動等

市民会議会長が代わりました

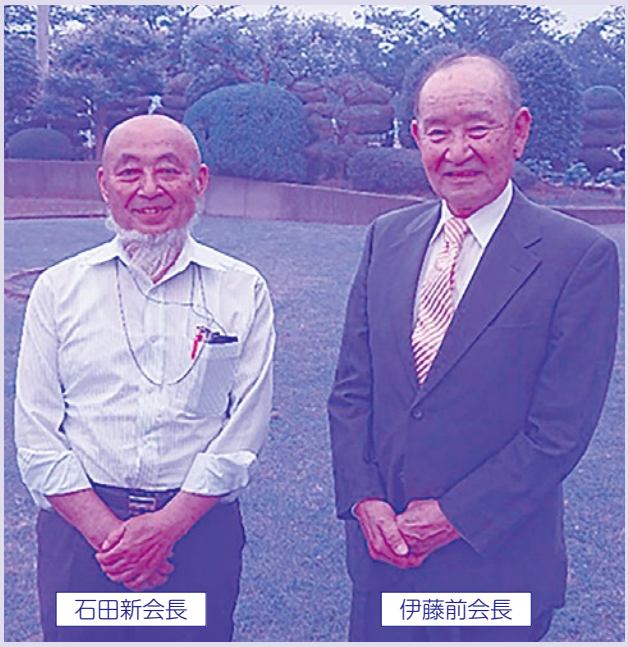
市民会議会長を、８期 16 年務めた伊藤前会長から新会長の石田会長に令和２年度より交代しました。
今回、新しく就任した石田会長のご挨拶を紹介します。
伊藤前会長には長きにわたり会長として市民会議の発展向上に多大なる貢献をいただきました。
ご退任にあたり、永年のご苦労をねぎらい深く感謝の意を表します。

伊藤正則前会長就任時の市民会議のあゆみ

平成 14. 5月	・会長就任
平成 16. 5月	・「見守りボランティア活動」発足（P ８で紹介しています）
平成 22.11月	・「親の学習講座」100講座達成 ・内閣府よりチャイルドユースサポート章を受章

皆で知恵と力を合わせて

新会長　石田髙幸


石田新会長　伊藤前会長

緑の美しい季節となりました。
令和２年度の事業も、コロナ禍の対応、事業の変更等、皆様の知恵と力を合せて進めていただき無事終了致しまして、その実力のすばらしさに感謝申し上げます。
令和３年度も、コロナ禍対策を考えながら「重点目標」に向って、青少年への活動の展開を図って行きましょう。
それらを取りまく環境（保護者・地域）の皆様への啓発活動の具体的な推進力並びに青少年への直接的活動の援助・指導を進めて活動して行くことが求められると考えます。
そのためには各部会の専門を活かして、コロナ禍に対応した展開を考え進めて、家庭・学校・地域のより一層の連携を深めて青少年に、心身共に健全育成を達成出来ることを願い、計画を進めて大きな成果を期待して、頑張って行きましょう。

三郷市青少年育成市民会議は、
次代を担う青少年が誇りと自覚をもち心身ともに健やかに成長してくれることを願い、市内の青少年団体、青少年育成団体、青少年の健全育成活動を行う個人により平成８年に設立された組織です。
「子どもを見守る　地域の輪」 のスローガンのもと、以下の３点を重点目標として活動しています。

●重点目標

1. 見守り「安心声かけ」ボランティアの輪を広げ、安心安全なまちづくりに努めます。
2. 「家庭教育は全ての教育の出発点」と捉え、家庭・学校・地域の連携を強化し、家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育を支援する事業を推進します。
3. 家庭・学校・地域の連携を深め、地域の人間力を生かして青少年の健全育成を推進します。

コロナ禍での活動について各部会長に聞きました

人とのふれあいやコミュニケーションで青少年の健全育成を推進している市民会議の各部会の活動は、新型コロナ感染拡大予防の観点から、ことごとく中止せざるを得ない令和２年度でした。

年度後半には、リモートの会議や講座を取り入れ、工夫して、人との接触を控えながらも、新しい形の活動を実践していけるようになってきました。

青少年活動部会

コロナ禍にあっても、体験や交流を通しての学びは、青少年にとって欠かせないものという認識のもと、屋外、非接触というキーワードが野外での活動と親和性高く結びつくよう、部会において今後の事業展開について検討を図ってまいります。

貸出備品については点検を実施し、破損や欠品のある備品の補充を行い、コロナと同時に到来したアウトドアブームにも対応ができるよう、新規備品の整備を行いました。

（金子　喜久）

子育て応援部会

コロナ禍において「親の学習」事業は「アイスブレイク・グループディスカッションを行わない講義型」という指針が県から示され、例年通りにはいかない「変化」をもとめられる一年となり、活動を諦めかけていました。しかし、新しい「親の学習」を目指して 11 月よりスタートさせることができました。（４・５ページに詳細あり）

乳幼児子育て応援団系事業を再編して「のびＩＫＵプラス」を 11 月からスタート。

新しい「親の学習」講座を推進すると共に、従来型の講座も多くの方々が参加してくださるようにしていけるよう努力していきます。

（佐野　常治）

スポーツ・レクリエーション部会

昨年までファミリーバスハイクを主な事業としていましたが、市内でできる事業もよいのではと思います。たとえば、市民会議の部会が一同に会し宣伝も兼ねて全体で開催できる企画を考案するなど如何でしょうか。

今後も市民の皆さんが理解されて参加、協力いただけるレクリエーション部会であります事を願っています。

（川上　トサ子）

地域育成部会

親、学校の先生、近所のおじちゃんおばちゃんに、たくさん迷惑をかけ、注意をされ、それでも悪さをする私は、たくさん叱ってもらってきました。

本気で私のことを心配してくれた、たくさんの周りの大人の人たちの温かい気持ちのおかげで今の私があるんだとわかるようになってきました。

地域育成部会では、そんな子どもたちへの【余計なお世話】を学校や家庭とつながって、必要なことを相談し、必要な地域に届けていく事業に取り組んでまいります。

どこに、何が必要か？それは少ない人数の会員の頭では、なかなか想像がつきません。

たくさんの市民の方にこの地域育成部会にご参加いただき、たくさんの知恵を集めた活動を進めていきたいと考えております。

（山﨑　治）

広報啓発部会

12 月発行の増刊号では、発行時期を変更し、コロナ禍の中で子ども食堂やフードパントリーを行なっている皆さんの活動をご紹介しました。

取材、編集作業を例年通りに行なうのはまだ難しいですが、これからも市民会議の活動を市民の皆さんにお伝えして行きたいと考えています。

また、市内で青少年育成活動をされている方々のご紹介もしたいと思います。

（赤城　剛）

新しい生活様式の中で

コロナ禍のため令和２年度の「親の学習講座」をワークショップ形式で開催することが厳しい中、「今だからできることを」と、ファシリテーターオンライン研修会兼市内合同オンライン親の学習講座を無観客で実施し、YouTube で生配信するなど様々な形を模索し、ファシリテーターのスキル向上と、家庭の教育力向上を図りました。

就学時検診時「親の学習」講座

11 月（５校で実施　計 217 人参加）

令和３年度就学予定のお子さんをもつ保護者を対象とした「親の学習講座」を各小学校で実施。

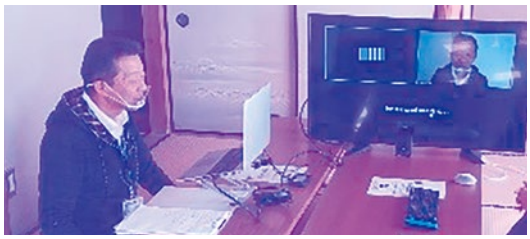
リアルタイム集計サイトを活用し、ファシリテーターの質問にスマホで回答、その集計結果が即画面に表示されます。

＜参加者の感想＞

今回は他の新入学児保護者の方々と話す機会がなく、どのような講座になるのかと思っていたのですが、分かりやすく斬新な内容に驚きました。スマートフォンの扱い方に始めは一瞬不安になりましたが、簡単な操作ででき安心しました。アンケート結果が直ぐに大画面に表示されるため、他のご家庭の様子や親御さんの考えがよく分かり、むしろ口頭で話すよりも恐らく正直で、深く理解が進んだような気がしました。コロナ禍の中、講座の内容については色々とご検討されたことと思います。感謝いたします。

パパ（父親）限定「親の学習」講座

11 月～令和３年３月に６回開催（６人参加）



コロナ禍に伴う「新しい生活様式」により、子どもと接する時間が増えたパパの子育てに少しでも協力できればと、「他の家庭はどうしているの？」「うちは●●だけど、これでいいのかな」などの情報交換をパパ同士が行い、新たな気づきを得ることができました。

「コロナ禍での子どもの生活」「コロナ禍・家庭での父親の役割」「お小遣いの相場」「クリスマスプレゼントの悩み」「井戸端会議しましょう！」「どうすればいいの？ PTA」など、色々な子育てテーマで話しました。

＜参加者の感想＞

●コロナで人と会う機会が少なく、他の家庭の状況が知りたい。

●子どもが家にいる時間が長く、ネットやゲームをする時間が長くなっている。他の家庭はどうしているのかを知りたい。

で、今だからできること

市内合同「オンライン」親の学習講座

令和３年１月24日（日）

YouTube で生配信　※約 200 人視聴

幅（はば）　允孝（よしたか）氏　講演会

「日本一の読書のまちって何だろう」

～人と本との新しい関係性について考える～

ブックディレクターの幅　允孝氏は、「子どもに本との出会いの場をつくろう」「子どもが本好きになるには、ジャンルはなんでもよいので、いつでも子どもが好きな本を手にできる環境・場所づくりが大切」などと話されました。

＜参加者の感想＞

初めてのオンライン講演拝聴させていただきました。人と本の出会いを交通整理し結び目作りを行う為に、私には思いつかないような発想や様々な創意工夫をされ、「一人ひとりに本を届ける情熱があれば物事が進んでいく」事例を紹介していただき刺激を受けました。先生が言われていた「日本一の読書のまち三郷とは、読書のことを日本一考えているまち、考え続けるまちではないでしょうか」ということが、とても大事だと思いました。

地域育成部会・子育て応援部会　オンライン合同研修会

令和３年２月11日（祝）

YouTube で録画配信　※約 100 人視聴

木村（きむら）　泰子（やすこ）氏　講演会

今こそ「地域の学校」をすべての子どもの居場所に

～誰一人取り残さない地域の学校づくりを～

＜参加者の感想＞

2018 年に埼玉県 PTA 研究大会で鑑賞した映画「みんなの学校」の木村先生のお話でした。内容的には未来の日本の教育への警鐘とも受け取れる非常に重たく深いことであると思います。これまでの実践を笑顔で明るくさらっとお話しくださった木村先生のご苦労ははかり知れません。地域と学校とが良い関係を保ちながら、地域の方、子どもを学校に通わす保護者、教職員の一人ひとりが当事者、サポーターとして「みんなの学校」であるための風土を作っていきたいと思います。新型コロナ感染拡大で学校行事や PTA 行事の多くが中止になりましたが、意識的に学校に関わる良い機会になりました。

※参加者の感想については紙面上、一部抜粋しています。

みさと子どもフォーラム 2020

青少年たちが日常生活の中で強く感じていることや考えていることを、広く市民の皆様に知っていただくために、三郷市文化会館につどい、小・中学生の少年の主張発表、「家庭の日」ポスターコンクールの表彰等を行っていました。

令和２年度は、新型コロナ感染予防のため、発表の開催を中止しましたが、「家庭の日」ポスターコンクールでは、1,519 名の応募から市民会議入賞作品を下記に掲載しています。また、「少年の主張」応募は 4,069 名ありました。その中から、入賞作品を、YouTube で配信しています。ぜひ、ご視聴ください。

視聴はこちらから
市ホームページへリンクしています

令和2年度 三郷市「少年の主張大会」入賞作品

＜小学校の部＞

「限りある地球の水」	彦糸小学校　張　瀟文
「戦争がもたらす傷」	桜小学校　中村　潔敬
「分け合う心」	彦成小学校　山口　眞幸
「環境を守るために」	彦成小学校　中村　蒼生
「心を救う看護師に」	前谷小学校　大原関琴美
「私の守りたいもの」	早稲田小学校　加藤　花帆

＜中学校の部＞

「未来へ繋ぐために」	早稲田中学校　横尾　咲姫
「おもいやりの心」	早稲田中学校　岡田亜葵乃
「「生きる権利」を尊重するために」	前川中学校　千葉　瑛
「僕たちの地球は僕たちで守る」	栄中学校　鷲川　真洋
「自殺のない社会にするために」	瑞穂中学校　高島　美汐
「一つの命を大切に」	彦糸中学校　湯浅　朱々

家庭の日ポスターコンクール

★ 最優秀賞
◆ 優秀賞
● 優良賞

小学校低学年の部

★「家族みんなで線こう花火」
桜小学校　佐口　結亜

◆「家族で体操教室」
彦成小学校　浦田　海音

●「ざりがにつりはたのしいな」
前間小学校　古山　葵乃

●「みんなのえがお」
戸ヶ崎小学校　青木　楓

小学校高学年の部

★「自しゅく期間は家族が先生」
前谷小学校　益子　美海

◆「夕方と魚」
瑞木小学校　加藤　千楓

●「みんなでいただきます」
吹上小学校　二葉　芽依

●「白熱のテーブル卓球」
前間小学校　古山　陽大

中学生の部

★「家族です　あなたが守る人は誰」
瑞穂中学校　早見　優

◆「笑　と　絆」
瑞穂中学校　田中　真羽

●「家庭の日」
瑞穂中学校　鈴木　美音

●「団らんの時間」
栄中学校　伴野　翼

三郷市青少年育成市民会議の活動

青少年育成市民会議は、「青少年の健全な育成をめざす、団体と個人の連合組織」です。
青少年の健全育成は、市民全員の願いであり、また責務でもあります。地域の子どもは地域の大人で見守っていかなければなりません。そこで市民総ぐるみで「青少年の健全育成をめざす市民運動」を盛り上げる推進母体として、平成８年に、市内の青少年団体、青少年育成団体、青少年健全育成活動を行う個人の参加を得て設立しました。
私たち会員は、それぞれが所属している団体や、個人ではできない全市的な青少年の健全育成への取組を、ボランティアで行っています。

全体事業

●みさと子どもフォーラム
●地域育成・子育て応援部会合同研修会

地域育成部会

●8中学校区地域青少年育成会情報交換会
　地域の大人が地域の子どもを見守ることは非常に重要なことです。8中学校区の各育成会の取り組みを中心に情報交換を行うとともに、部会事業の企画・実施に向けた話し合いを行っています。
●「こども110番の家」運営・維持
　子どもが身の危険を感じた時すぐに飛び込める「こども110番の家」の設置推進を継続して行っています。犯罪防止の効果もありますので、今後も皆さまのご協力をお願いします。
●見守りボランティア
●青少年の非行・被害防止、子供・若者育成支援啓発活動
　年2回、市民の皆さんに青少年健全育成について考えていただくため駅前や大型商店街店頭、イベント会場でチラシや啓発物を配布しています。

青少年活動部会

●「遊ingスクエア」
　毎年開催される「生涯学習フェスタ（勤労者体育館・青少年ホーム）」にて、様々な遊びの提供や活動備品貸出事業の展示を行っています。
●青少年育成者研修会
　青少年リーダーとして必要な知識、経験を体験活動を通して学びます。
●研修者派遣事業
　青少年や青少年の育成者・指導者の資質向上を支援するために、各種研修会などへの参加について補助を行います。詳しくは8ページをご覧ください。
●活動備品貸出事業
●「ねこの手団」
　市民会議が行う事業をお手伝いしてくださる方を募集しています。

スポーツ・レクリエーション部会

●ファミリーバスハイク
　親子で同じ遊びをして、たくさん運動してたくさん話す機会を作るために、ファミリーウォークラリーなどを開催しています。

子育て応援部会

●「親の学習」講座
　教育の原点である家庭の教育力向上を目指して、埼玉県「親の学習」プログラムを活用した講座を開催しております。参加者が話し合いをするなどして、主体的に学ぶ参加型の学習です。赤ちゃんから高校生を持つ保護者のほか、中学生、高校生など近い将来親となる生徒を対象に「いつでも・どこでも・誰でも」をモットーに実施しています。令和2年度からZOOMを使ってのオンライン講演会を開催しています。
●ファシリテーター研修会兼講演会
　講座を担当するファシリテーターの資質向上のため研修会を行い、あわせてその講演をYouTubeにて生配信しました。
●子育て相談

広報啓発部会

●広報「そよかぜ」の発行
　毎年5月・11月（増刊号）に発行し、小中学校の児童・生徒及び下記の公共施設にて配布しています。

　市役所市民ホール、青少年ホーム、勤労者体育館、北公民館、早稲田図書館、北部図書館、市立図書館、文化会館、鷹野文化センター、高州地区文化センター、彦成地区文化センター、東和東地区文化センター、総合体育館、高州地区体育館、コミュニティセンター、瑞沼市民センター、世代交流館ふれあいパーク、北児童館、早稲田児童センター、南児童センター、ピアラシティ交流センター

わたしたちは市民会議に参加しています。

○小学校長会
○中学校長会
○市内高等学校長代表
○埼玉県立三郷特別支援学校
○生徒指導特別委員会
○南中学校区地域青少年育成会
○北中学校区地域青少年育成会
○栄中学校区地域青少年育成会
○彦成中学校区地域青少年育成会
○彦糸中学校区地域青少年育成会
○前川中学校区地域青少年育成会
○早稲田中学校区地域青少年育成会
○瑞穂中学校区地域青少年育成会
○三郷市子ども会育成連絡協議会
○三郷市青少年相談員協議会
○ミサトジュニアリーダースクラブ
○市内高等学校PTA役員連絡協議会
○三郷市PTA連合会
○埼玉県立三郷特別支援学校PTA
○三郷市次代を担う若者の船の会
○三郷市スポーツ少年団
○三郷市スポーツ協会
○三郷市レクリエーション協会
○三郷市スポーツ推進委員連絡協議会
○早稲田地区スポーツ･レクリエーション委員会
○戸ヶ崎地区スポーツ推進委員会
○高州･東町スポーツ･レクリエーション委員会
○彦成地区スポーツ推進委員会
○新三郷地区スポーツ推進委員会
○ボーイスカウト三郷連絡協議会
○三郷市青少年育成推進委員協議会

○個人正会員
○個人賛助会員
○団体賛助会員

市民会議の会員を募集しています!

目的に賛同される方は、個人、団体を問わず、誰でも参加できます。常時会員を募集していますので趣旨に賛同の上、入会を希望される方は、市民会議事務局までお問い合わせください。

青少年育成市民会議について
三郷市のホームページが開きます

正会員
市民会議の運営や事業を計画し、実際に推し進めていきます。
個人正会員（会費　1,000円/年）
団体正会員（会費　3,000円/年）

賛助会員
実際の活動には忙しく参加できないけれども趣旨に賛同して資金的な援助をします。
個人賛助会員（会費　3,000円/年）
団体賛助会員（会費　5,000円/年）

市民会議は
お気軽にご利用ください。
地域で青少年を育てる活動を支援します。

活動備品を貸出します。

青少年の体験活動を促進するため、活動備品の貸出をしています。

下記の写真以外でも双眼鏡、調理器具、カプラなど貸出できる備品がございます。詳しくは右のQRコードからアクセスしてください。（備品一覧が出ます）

○利用の範囲
利用することができるかたは、三郷市青少年育成市民会議会員及び、三郷市内で営利を目的としない青少年活動を行う団体及び個人です。

○利用の期間
原則として1週間以内です。

○利用の申込
市民会議事務局の三郷市教育委員会青少年課（三郷市青少年ホーム）に利用申請書を提出して下さい。

○損害賠償
利用者は、故意又は重大な過失により市民会議活動備品を損傷し、又は亡失したときは、会長の指示に従いこれを原形に復するか又はその損害を賠償していただきます。

活動備品の指導者派遣について
活動備品を利用してみたいが使用方法が分からない場合は、指導者を派遣し、利用する上でのお手伝いができる場合があります。青少年課にご相談ください。

○ドームテント

○２WAYテーブルグリル

○ランタン

○餅つきセット

○焚き火台・ランタンポール

○ヘキサタープ

「子ども110番の家」にご協力いただける方を募集中！

「子ども110番の家」の看板を見て、子どもが助けを求めてきた場合に、子どもを保護し、状況に応じて子どもの家庭や学校等へ連絡、救急車の手配の対応等を行う「子ども１１０番の家」にご協力いただける方を募集しています。なお、危険を冒してまで不審者や犯人を追跡したり、取り押さえたりするなど対応を求めるものではありません。また、この活動は災害補償保険の対応となります。ご協力いただける方は下記の市民会議事務局までお問い合わせください。

研修者派遣制度を活用してください。

三郷市青少年育成市民会議では、青少年活動者、青少年育成者、青少年育成指導者を目指すかたが、様々な研修に参加する際、その研修費用を助成いたします。これは、団体活動を盛んにし、青少年の健全育成活動を活発に行うためには、体系的な知識、理論、技術を習得した青少年育成者と青少年活動者が求められることから実施するものです。

1	派遣研修対象者	青少年活動者、青少年育成者、青少年活動育成指導者を目指すかた
2	助成の対象事業	野外教育活動、自然体験活動、スポーツ・レクリエーション活動、社会福祉活動、ボランティア活動、団体運営、組織運営などをテーマに組織的に行われる研修事業
3	研修費の助成額	①受講料が1万円以内の場合は、全額 ②受講料が1万円を超える場合は、1万円を超える額の2分の1を1万円に加算した額で、限度額は2万円

見守りボランティア活動

三郷市青少年育成市民会議では「子どもを見守る地域の輪」をスローガンに、「見守りボランティア」の輪を広げ、児童・生徒の登下校時の見守り活動などを実施し、安心・安全なまちづくりに努めています。

この見守り活動は平成16年度から展開しており、現在は10,000名を超える方にご参加いただき活動しております。

★このページに関するお問い合わせはこちら　三郷市教育委員会　青少年課　048-953-1040

この印刷物は環境にやさしい「植物油インキ」を使用しています。
VEGETABLE OIL INK